
「身体抑制に依存しないドレーン・チューブ管理の取り組み

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

1. 研究の対象となる方

西暦2022年4月1日～西暦2022年7月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターA1階病棟へ入院・転入された患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

ドレーン・チューブの計画外抜去に関して、対策強化の必要性があると判断し、身体抑制に依存しないドレーン・チューブ管理についての取り組みを強化した結果を明らかにします。

3. 研究期間

臨床研究 IRB 承認日～2024年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年1月7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターA1階病棟において、研究責任者である赤間 友紀が、個人が特定出来ないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

埼玉医科大学国際医療センターA1階病棟に入院・転入された患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

A1階病棟	看護師	赤間 友紀（研究責任者）
A1階病棟	看護師	神保 実莉
A1階病棟	看護師	和田 汐里
A1階病棟	看護師	原澤 アリサ
A1階病棟	看護師長	朝倉 登美子
救命救急科	診療部長	大谷 義孝

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

カルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 赤間友紀

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く8：30～17：00）

研究課題名： 身体抑制に依存しないドレーン・チューブ管理の取り組み

研究責任（代表）者： 埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 赤間友紀